

骨密度検査のご案内

骨密度検査装置が
より精度の高いDXA（デキサ）法にかわりました

DXA法とは

エネルギーの低い2種類のX線を使って測定。全身のほとんどの骨を測ることができます。
一般的に腰の骨(腰椎)や脚のつけ根(大腿骨近位部)の骨密度を正確に計測して表わされます。
骨折すると多大な苦痛を強いられる脊椎部、大腿骨部の骨密度を直接測定することができます。

低被ばくと短い検査時間、だから患者さんにやさしい

被ばく量は通常の胸部一般レントゲンの約1/6程度にとどまります。

「腰椎・大腿骨の一括測定」によって検査時間は10分程度です。

追加料金5,500円〈税込〉各種健康診断コースにオプションで追加可能です。

